



プレーパーク 中学生海外派遣事業によるオーストラリアでのホームステイ

玉造

Contents

国際理解一步前進、後輩たちへリレーしよう！	2
「老人日常用具給付等事業」の内容が変わりました	7
戦争ゼロの地球に
新鮮牛乳の生産に精進してます
西連寺市の伝統二十一世紀へ！

15 12 11

国際理解一步前進、

千葉市立玉造中学校
こひやまちゅうがっこう

オーストラリアの人々や自然

市村啓吾
オーストラリアの人々は、とても親切で人柄の良い人がたくさんいた。休日にはのんびりスポーツを楽しんだり家でくつろいだりとのどかであった。また、国全体で動物や自然を守っていこうとする姿勢にも感動した。この経験を今後の生活の中で活かしていきたいと思う。

ホームステイ生活

清宮達也
ホームステイで学んだ日本とオーストラリアの違いは、挨拶するときのマナーで、男は固く握手をして相手の目を見ながら言葉をかわし、女性はていねいに握手し同様に相手の目をみながらお話しすることになっています。マナーの厳しい豪州人の意外な面もありました。

オーストラリアでの忘れられない体験 森作大貴
いろいろと日本の文化や生活習慣の違いを学びました。学校では、小学校と中学校が一緒で、1年生から9年生まであります。驚いたことに給食がないので、みんな弁当を持ってくるかあるいは売店で買います。また、生徒たちは明るく男女の仲がよくとても理想的な学校でした。

ホームステイのこと 高野順子
ホストファミリー宅はすごくきれいで2階建て庭にはプール等もあった。10歳になる娘はすでに化粧品を持ちお化粧し、父親が料理や掃除をしている間、なんと母親はテレビをみていました。ちなみにお母さんが料理が下手だということでした。

オーストラリアで学んだこと 橋本知美
ケアンズのグレートバリアリーフという島では、世界遺産に指定された白い砂浜、透き通った海、たくさんのサンゴ礁と本当に美しい海を見ました。半潜水艦に乗って海中を観察すると、霞ヶ浦とは比べものにならないくらい透き通っていてカワイイ魚が見られました。

いろいろ経験した10日間 高橋佑一
オーストラリアと日本の大きな違いは物価でした。オーストラリアでは、2,000万円あれば家と広めの庭が購入できます。食べ物については、ガイドブックではオーストラリアの食事はうす味とかいてあったにもかかわらずかなり味が濃かったです。

オーストラリアに行って

大場由希
オーストラリアでは、日本語とインドネシア語を習う人が増えている関係で、訪問校でも日本語クラスがあり、生徒の代表が日本語で挨拶をしてくれて緊張がほぐれました。すごく明るく男女の仲が良いこともあります。私たちもとても仲良くなれました。

「広い国」で学んだこと

並木映李香
オーストラリアではいろいろな驚きがありました。訪問校の第一印象は「広い！」ということでした。草原の中の学校という感じでした。また、乗車する際は後部座席の人もシートベルトをしっかりとしたり、どのような食事や軽食後にも、とにかくお茶がでました。

日本から離れて

藤崎真美
ホームステイ先では、テニスコートもありソフトテニス部の私も硬式テニスにチャレンジしました。オーストラリアでは、ほとんどの男性が食事をつくるそうです。ホームステイ最後の夜はケーキ作りにチャレンジしたり、日本では食べないような羊をたべました。

大きな大陸を相手にして

小野瀬利幸
ホームステイ先ではとても緊張し、言葉の壁が生じました。はじめ相手の間に応えられず、ハンドブックなどを活用して応えを返す内に相手の言うことが7割位理解できるようになりました。でも、言葉や髪の色は違っても同じ人間なのでそんなに変わらないと思いました。

言葉の違う友達とのふれあい

岡田未希
初めてのことばかりだった海外派遣研修。特にオーストラリアの学校での生徒との交流が一番心に残っている。日本文化の展示教室を見たり、レセプションでのプレゼント交換では書道を披露しました。「日本の文化を知ってもらう！」目標が達成できました。

自然と人の本当の「かたち」

小野口 南
この海外派遣研修で一番思い出深くもあり、自分が成長したと実感できたと思ったのは、4日間のホームステイだったと思います。そして、人の優しさやあたたかさを教えてもらいたくさんの交流が深められて良かったと思っています。

後輩たちへリレーしよう！

第2期生玉造町中学生海外派遣研修事業



今年の夏にも昨年に引き続き玉造町中学生海外派遣研修事業が実施され、24名の中学生がオーストラリアでの生活体験研修を行いました。

第2期生となるメンバーは、いずれも玉造中学校の2年生で、玉造中学校額賀旭校長を団長、引率指導に同じく同校菊池久子教諭と小野口吉政教諭が同行し、異国での生活文化に触れ、大自然を満喫してきました。

研修は、ホームステイや交流会への準備や生活習慣の学習などの事前研修を、6月中旬から7月下旬まで行いました。

8月1日には、玉造町役場にて結団式と壮行会を行い、一路メルボルンへ向かいました。当地での体験学習に続いてシドニーでの4日間のホームステイ、最後にケアンズでグレートバリアリーフの大自燃を楽しんで帰路につきました。

8月10日に帰国し解団式を行い、事後研修として報告書の作成と9月30日には、玉造中学校1・2年生を対象にした校内報告会が開催され、テレビや書物では感じ取れなかった生の異文化体験の発表と積極的な質問が行なわれ、昨年にも増して国際理解が深まったようです。



玉造中の生徒は幸せなり

団長 玉造中学校校長 須賀 旭

第2回玉造町中学生会海外派遣団長として8月1日～10日までの10日間、オーストラリアのメルボルン8学校訪問・市内観察)、シドニー(ホームステイ・市内観察)、ケアンズ(熱帯生物の観察・自然観察)の研修を無事終了することができました。第2回の実施に向けて、4月より推進委員会がスタートし、昨年度の反省に基づいて改めるべきは改めるを基本方針に7回の委員会を実施いたしました。団長として渡豪することを知った多くの知人・友人からは「大変ですね」との質問と「玉造町はすごいな」との声がありました、「教育優先の町なのです」と幾つかの事例を上げ説明しました。オーストラリアでの研修中や往復の飛行機の中で、いくつもの中学生・高校生の海外派遣団に会いその団長や生徒のみなさんと話す機会があり、24名の参加数には驚きの声を聞くことが大変多くありました。

壮行会や成田の出発ロビーでは固くなっていた生徒たちも、時間とともに緊張がほぐれて会話が弾んでいました。トマス・カー・カレッジ校訪問では、生徒達も緊張感が最高潮のようでしたが、明るくフレンドリーな出迎え等もあり、緊張も解けて時間の経過とともに同世代の少年少女と打ち解けていました。

ホームステイでは、ホストファミリー宅へ行くまでは生徒たちの身体は一本の棒のようになっていましたが、ホームステイ終了後に待ち合わせのコミュニティセンターに集合してくる生徒たちは、行くときのあの固さはどこへやら、老婦人と抱き合って別れを惜しむ生徒。別れの挨拶をゆっくりと交わす生徒。等々様々で生徒たちが大きく見えてきました。帰りの空港ロビーでは英語で両替したり、自信に満ちた顔で土産を買う生徒が多くいました。

広大な日本の20倍以上の国土を持つ国での8日間、その中で感じたことのひとつがオーストラリア人は健康志向だということ、ふたつに環境を大切にし、公園などよく手入れをしていること、とても親切で安心して市内を歩けることなど多くの情報を得ました。

成島忠行町長が「地球を駆ける国際人を育む。」「21世紀の町づくりのニューリーダーとしての自覚と自信を身に付けた人材の育成。」「まちづくりはひとづくり」という崇高な理想を実行し、議会はじめ多くの方に賛同されての当事業実施の意義は大きいもので、玉造中学校の生徒は本当に幸せで、この子らが21世紀の玉造町の発展に中心となって活躍するものと確信いたしております。

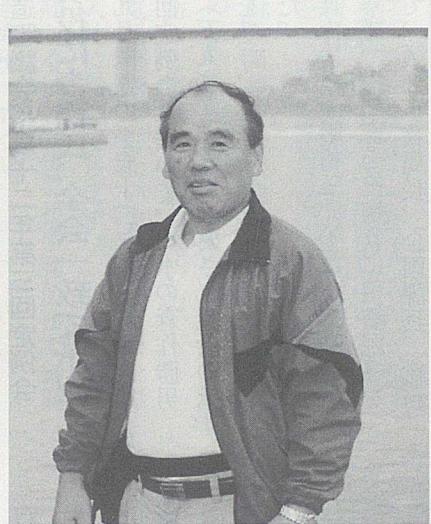
玉造中学校教諭 菊池 久子

さあ、いよいよホームステイのはじまりというとき、それまで宿泊学習旅行の延長だったにぎやかな雰囲気から、急に生徒たちの顔に緊張の色が見えてきました。

私自身も久しぶりのホームステイで私自身もオーストラリア人の気さくさ、温かさ、そして日常生活のことなどたくさんことを学びました。

言葉も環境も違うところで、生きた英語を使い学んだことは生徒たちに貴重な体験になったことでしょう。

ひとまわり大きく逞しくなり自信と積極性をお土産に帰国した生徒たちを見て、これから活躍を期待するものです。



玉造中学校教諭 小野口 吉政

今回、渡豪の目的のひとつが豪州と日本の学校の違いを肌で感じることでした。訪問した中高一貫私立校、トマス・カー・カレッジ校は、郊外の広大な草原の中に建つ校舎で、意外な外観に比して施設設備はバリアフリーが整い、人にやさしい校舎でした。

また、理科教室は今まで自分が描いていた理想の理科室でした。講義と実験の場所が別になっており、パソコンが常備され実験データがすぐグラフ化できる環境を創り、生徒の安全面も細心の注意が払われていました。この他家庭での様にも厳しく家庭教育の充実を垣間見ることができました。

もうひとつの家族と自然

小林香澄

海外派遣研修へ行く前までは、自分の語学力でコミュニケーションをとれるか不安でしたが、ホームステイでも楽しく過ごせました。この研修で学んだオーストラリアの良いところや日本との違いなどを友人などに伝え関心をもっていただきたいと思います。

メルボルンで

仲田春香

訪問校、トマス・カー・カレッジ校での生徒との交流が印象に残っています。キャサリン先生という日本語の先生が日本語で話しかけてくれたり、お茶を入れてくれたり、図書室で日本の本を紹介してくれたり下さったのでリラックスできました。



カメラから見た10日間

秋山友佑

オーストラリアでは、カメラマンをやることになりました。僕は英語が苦手なのでとても苦労しましたが、ホストファミリーなどの心遣いで自分の家にいる気分で過ごせました。牧場で見た牧羊犬の活躍や羊の毛刈り、そして牧場の広さは大自然を感じました。

心に残ったこと

西谷圭佑

訪問校の生徒はとてもやさしく明るい人ばかりでした。英語が下手な僕にもやさしくしてくれて僕が分からないところは何度でも繰り返し話をしてくれました。

グレートバリアリーフでは、海洋生物を観察しました。世界遺産だけあって美しい風景に心が奪われました。

貴重な体験

萩原達也

10日間の海外派遣研修で、オーストラリアの文化、習慣、日本との違いなどを学んできました。

訪問校の生徒たちは、先輩・後輩関係なく、すごく仲良く生活していたような気がしました。僕はオーストラリアの生徒たちを見てすごくうらやましく思いました。

海外研修で学んだこと

出沼明佳

この研修に参加希望した理由は、文化や習慣そして考え方の違いを学び、生きた英語を学ぶことでした。

また、自分に足りなかつた協調性を養い、誰とでも話し合い友達になれるようコミュニケーションの考え方を学びたいと考えていましたが、多少実行できたと思います。



全力挑戦

菅谷僚子

今回の研修テーマである「広い国へ、広い心をもつて」とおりホームステイで英会話ばかりでなく心の学習もできました。人のひと言からあたたかい心(広い心)がつくられるということです。このことを心の箱に大切にしまっておきたいと思います。

オーストラリアの生活習慣を体験して 黒髪英次郎

今回の研修に参加してオーストラリアの文化や習慣について多くのことを学べました。家に入るとときは靴の土を落として土足で入る住宅文化、トイレが一体化したバスなど日本と違う暮らしがありました。

日本との違い

高須理仁

オーストラリアで訪問した学校と私たちの学校の学校では、中学校と高等学校が一緒になっていることでした。また、生活では食事の量が少なかったこと、お風呂ではあたたまるより汗や汚れを流すことに使用するなど違いがありました。

初めてのAustralia

井野場真希

海外派遣研修では生活文化の違いを知るために積極的に取り組み、英会話にも慣れ親しもうと参加しました。

日本が夏でしたが、当地は反対の冬でした。また、雨が降ってもすぐ止んでしまうのが特徴でした。ホームステイ先には折り紙・独楽等のお土産を差し上げました。

日本を離れて見つけた者

仲田朋代

オーストラリアへ入国して最初に「きれい!」と思いました。市内にはゴミもなく環境を考慮した開発でした。

10日間の生活も毎日新しい発見が続き、自分を見つめることもできました。この海外派遣研修をとおしてさらに国際交流が深められれば良いと思います。

私が得た経験

橋本亜沙美

日本とオーストラリアのことばの違いをしり改めて人類が自分の意志や気持ちを伝えるために必要なもので単語ひとつ伝えるのにも大変なことがわかりました。ホストファミリーは私たちを本当の家族のように接してくれたのに、その気持ちに気付くのが遅れたのが残念です。



介護保険施行にともない

「玉造町老人日常生活用具給付等事業」の 内容がかわりました

改 正 後				改 正 前			
区分	種 目	対 象 者	性 能	区分	種 目	性 能	区分
給付	電気調理器	おおむね65歳以上であって、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要なひとり暮らし老人等	電磁による調理器であって、老人が容易に使用し得るものであること。	給付	特殊寝台	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	総務課長(議会事務局長) 栗又敏治
	火災警報機	おおむね65歳以上の低所得者のねたきり老人、ひとり暮らし老人等	屋内の火災を煙又は熱により感知し、音又は光を発し、屋外にも警報ブザーで知らせ得るものであること。		マットレス	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	議会事務局長(総務課長補佐兼行政係長) 西谷正明
	自動消火器	おおむね65歳以上の低所得者のねたきり老人、ひとり暮らし老人等	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。		エアーパッド	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	総務課長補佐兼行政係長(総務課秘書広報係長) 高埜栄治
貸与	老人用電話	おおむね65歳以上の低所得者のひとり暮らし老人等	加入電話		体位変換器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	総務課辞書広報係長(教育委員会生涯学習課社会教育係長) 池畠正夫
腰掛便座(便器)	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
特殊尿器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
入浴補助用具	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
電磁調理器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
歩行支援用具	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
痴呆性老人徘徊感知機器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。						
貸与	老人用電話	おおむね65歳以上の低所得者のひとり暮らし老人等	加入電話		火災警報機	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	
					自動消火器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	
					車いす	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	
					移動用リフト	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	
					老人用電話	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること。	

改正前の給付・レンタルでご利用いただいた項目で改正後にはサービスにつきましては、介護保険でのサービスでご利用いただいております。

茨城県麻生県税事務所
TEL 0299-55-0111 0771

税務課

入札(電話加入権の公売)に 参加してみませんか

麻生県税事務所では、毎月電話加入権の公売を実施しています。

新しく電話を設置したい方、もう一本電話を増やしたい方など、どなたでも入札に参加できます。

詳しくは、麻生県税事務所まで御問い合わせください。

茨城県麻生県税事務所
TEL 0299-55-0111 0771

福祉課

玉造町議会平成十二年第三回定例会 助役に森作氏、全会一致で承認

九月開催の平成十二年玉造町議会第三回定期会において、捻木の森作勝男氏(五九)が助役に推薦され議会の承認を受け、九月二十五日に就任いたしました。森作氏は、昭和三九年に玉造町役場に奉職、出納室を皮切りに税務課等を経て、議会事務局長、企画課長、総務課長等の要職を歴任しました。

玉造町職員人事異動
(十月一日付)

総務課長(議会事務局長) 栗又敏治	議会事務局長(総務課長補佐兼行政係長) 西谷正明
総務課長補佐兼行政係長(総務課秘書広報係長) 高埜栄治	総務課辞書広報係長(教育委員会生涯学習課社会教育係長) 池畠正夫

秋冷の候 町民の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます このたび 九月議会定例会においてご同意を賜り九月二十五日付をもって玉造町助役を拝命いたしました 総務課長在任中は公私ともにひとかならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます 地方分権の推進や行財政改革など地方自治を巡る大きな課題が山積している折から 新しい任務の重さに身の引き締まる思いでございます もとより微力ではございますが 町長を補佐して町勢の発展と町民の福祉の向上に全力を尽くす所存でございますので 何とぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして就任のごあいさつをいたします



助役就任のあいさつ

新しい審査結果で適切な介護サービス提供

高齢者の心身の状況は変化しやすいため、常に適切なサービスが受けられるよう、定期的な見直しを行ないます。要介護認定の効力は申請のあった日からさかのぼって発生し、通常は六ヶ月間有効です。ただし、要介護状態などによっては三ヶ月程度とされることもあります。

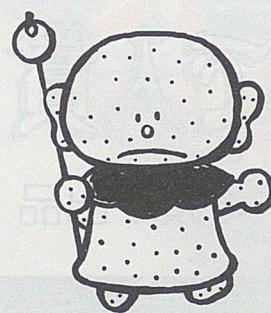
よって、有効期間を経過するごとに再度、申請調査審査と認定の手続きが必要となります。

また、有効期間内であっても、心身の状況が変化した場合は、要介護認定の見直しと申請をすることができます。



介護サービスの利用の仕方

- ①申請する……玉造町役場福祉課窓口
TEL 0299-55-0111
- ②要介護認定……要介護度
介護認定審査会(鹿行広域市町村圏事務組合内)
訪問調査(福祉課職員等が聞き取り調査を実施)
コンピュータによる判定
主治医の意見書
- ③サービスの選択……居宅15種類/施設3種類
- ④介護サービス計画(ケア・プラン)
- ⑤サービスの利用……1割負担



映画「おこり地蔵」を鑑賞して

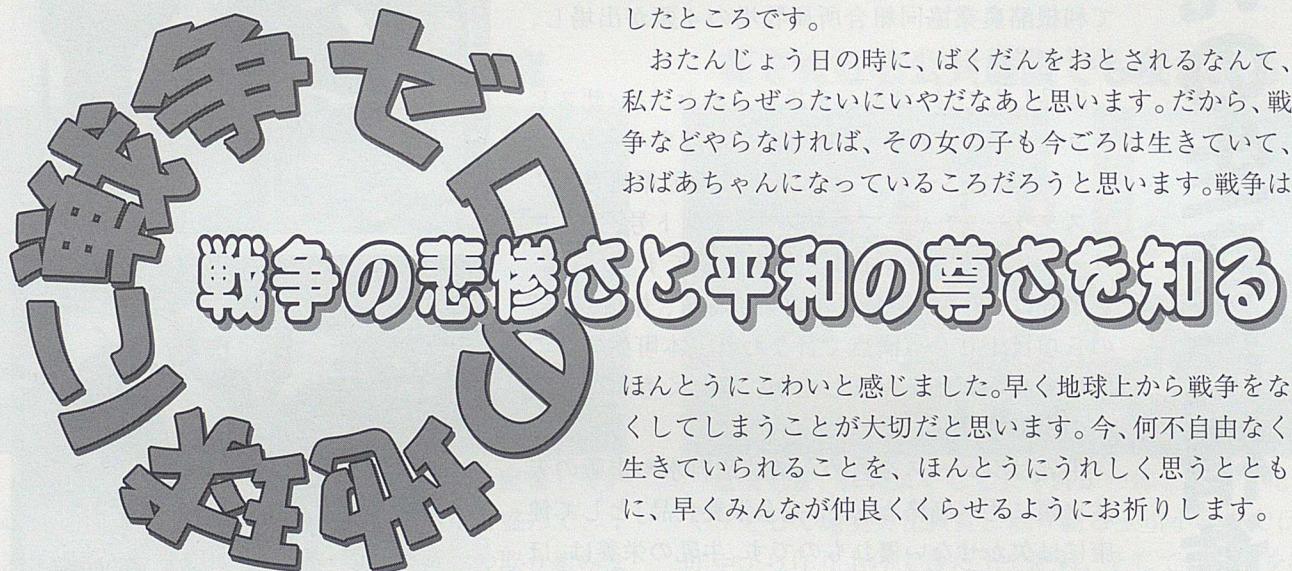
加 茂 狩 谷 愛

私は、夏休み中の加茂子ども会の行事で、玉造町中央公民館を会場にした映画鑑賞会に参加しました。「おこり地蔵」はじめ、たくさんの映画を見せていただきました。

私の心に一番残っていたのは、とてもかわいそうだったこの「おこり地蔵」という映画でした。これは本当にあったお話ということです。

すごく心に残っているストーリーは、つぎのようなものです。その日は、女の子のお誕生日で、お母さんがお米を買いに行くと、出かけてまもなくひこうきがとんできて、女の子の家の近くにはばくだんをおとしたところです。

お誕生日の時に、ばくだんをおとされるなんて、私だったらぜったいにいやだなあと思います。だから、戦争などやらなければ、その女の子も今ごろは生きていて、おばあちゃんになっているころだろうと思います。戦争は



地球の同胞の平和を祈って

川 向 並 木 祥 子

1992年当時、夫の仕事の関係で、ポルトガルというヨーロッパの小国に住んでいたことがあります。毎日、テレビから流れてくるCNNやBBCのニュースのトップは、必ずといっていいほど、ボスニア・ヘルツェゴビナの戦闘のようでした。日本では、テレビでも新聞でも片隅に追いやられていたこの紛争ですが、同じヨーロッパ、そして欧米各国が自国の軍隊を派遣していることで、常にトップニュースとして扱われていたのでしょうか。

また、こんなこともあります。当時友達になった同世代の韓国人に「韓国の人々は日本人を嫌っているというけど本当?」と尋ねたことがあります。彼女は、「自分はそうではないけど」と前置きました上で、「上の世代の人には、日本人を嫌う人は多い」と話してくれました。このことは情報としては何となく知っていましたが、その国の人々の言葉を耳にして実感として受けとめられたのでした。そして、日本から独立した3月1日を独立記念日としてお祝いしていることもこの時初めて知らされたのでした。

日本にいると、ヨーロッパ、中東、そしてアフリカの民族紛争も、遠い遠い世界の出来事としか感じられません。でも、実際には、湾岸戦争をはじめ、幾多の紛争の際に、多くの戦闘機が沖縄の米軍基地から飛び立っているのも事実です。

毎年のように八月になると、テレビでも新聞でも戦争や平和についての特集が組されます。この時期だけという批判もありますが、せめてこの時期だけでも、実体験のない私たちにとって、まず「知る」ということが大切なのはと感じています。そして、何より、戦争の経験があるおじいちゃん、おばあちゃんたちから、生の声を聞くことが、我々の世代にも、次の世代のためにも、今、しておかなければならないことだとい強く感じるこの頃です。

新しい成年後見制度をご存知ですか?

成年後見制度とは、精神上の障害によって判断能力が十分でない方(痴呆性高齢者・知的障害者・精神障害者など)を保護するための制度です。

成年後見制度には、次のようなタイプがあります。

区分	本人の判断能力	援助者	
後見	全くない	成年後見人	監督人を選任することができます。
保佐	特に不十分	保佐人	
補助	不十分	補助人	
任意後見	本人の判断能力が不十分になったときに、本人からあらかじめ結んでおいた任意後見契約にしたがって任意後見人が本人を援助する制度です。家庭裁判所が任意後見監督人を選任したときから、その契約の効力が生じます。		

*なお、援助者は、必要に応じて、複数の人や法人を選任することもあります。

*任意後見契約は、公証人役場で作成する公正証書によって行います。

手続きの流れ

□判断能力が十分でない方がたとえば

- ・家を売りたいとき
- ・福祉サービスを受けたいとき
- ・遺産分割をしたいとき

1人でするには不安がある。1人ではできない。



家事相談(家庭裁判所内で実施)

□申立て(後見・保佐・補助の開始の申立て)

〈申立てに必要なもの〉

- ・申立書
- ・申立て手数料(1件につき600円の収入印紙)
- ・登記印紙
- ・郵便切手
- ・戸籍謄本・住民票
- ・成年後見に関する登記事項証明書
- ・診断書など



□審判手続き

(審問) 必要に応じ家事審判官(裁判官)が直接事情を尋ねる
(調査) 家庭裁判所調査官が事情を尋ねたり問合せたりする

*本人の判断能力について鑑定が行われることもあります



□審判

(監督)

(援助) 身の回りに配慮しながら財産を管理する

(成年後見登記) 法務局一審判内容は戸籍には記載されない

誕生おめでとう

ございます



出産

(9月受付分)

ところ 氏名 性別 保護者

高須栗山唯伽 女 茂

羽生小澤光太郎 男 吉輝

上山平間翔大 男 和雄

小座山宮河惇 男 昇

下宿池田郁弥 男 健一

小座山曾根雄大 男 正雄

浜高塚稟太 男 敬

お悔やみを
申し上げます



死亡

(9月受付分)

ところ 氏名 性別 年齢

八木蒔大槻トメ 女 90

西谷郡司一夫 男 72

新田瀧原きく 女 62

浜小沼正蔵 男 81

小座山齊藤昭吉 男 73

浜森作たかの 女 95

※掲載を望まないときは、届け出の際か
もししくは役場総務課秘書広報係
(☎ 0299-55-0111 内線 213)へ
ご連絡ください。敬称略。

スケッチチ はつらつ 町民 まちの話題

先生もパソコン徹底研究



県内でも早くから小中学校にパソコンを整備している玉造町では、教職員のパソコン利活用も盛んで、インターネットを駆使した総合的な学習への取り組みなどが行なわれています。

9月には、さらにパソコンの活用を考えようと玉造中学校を会場に夜間パソコン教室を開催しました。校長先生や教頭先生を含む40名余が新しいソフト利用に取り組みました。

花を育む心公共施設でも咲き誇る



全校児童、教職員そしてPTAが一体となって花づくりそして環境美化教育に取り組む玉川小学校では、昨年から作り上げてきた土や肥料、そして春に種を播き育ってきた草花が見頃となったため、プランターに入れて町内の公共施設を廻り飾りました。

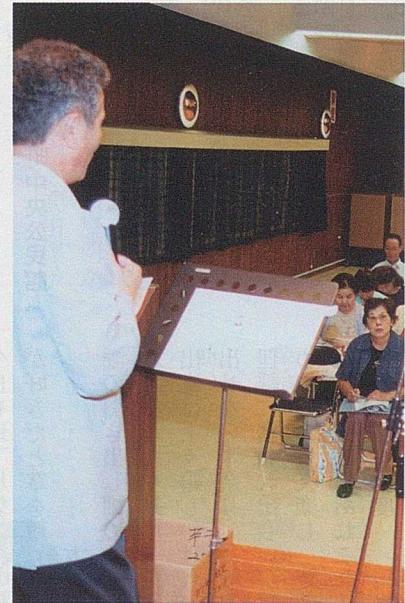
多くの住民や来町者が訪れる公共施設では丹精して育てた花が晴れやかな笑顔で迎え、こころを和ませてくれています。

伝統と新企画

老若男女が集い、学習の場として、またサロンとして多くの人たちから親しまれる公民館。

伝統の書道、絵画、写真、カラオケ等の趣味講座から、男の料理教室、フラダンス、そして世界の子どもたちに人気のポケモンの折り紙等、新企画も増し一層みんなの広場になっている公民館です。今後は利便性から地区館や学校施設利活用も課題です。

公民館講座が盛況



カラオケ教室



折り紙教室

「町民通信局」活動をしましょう！

あなたの地域の身近な

話題をお知らせください。

総務課秘書広報係まで

TEL 0299(55)0111

FAX 0299(55)0110

Eメール:t-tukuri@po.net-ibaraki.ne.jp

新鮮牛乳の生産に精進します

い
き
た

ホルスタイン共進会で入賞

玉造から第25回茨城県共進会へ4頭が出品

平成12年9月22日（金）、美野里町竹原の茨城県中央家畜市場で開催された第25回茨城県ホルスタイン共進会に、本町から鹿行地区代表として利根酪農業協同組合所属牧場の4頭が出場し、入賞を果たしました。

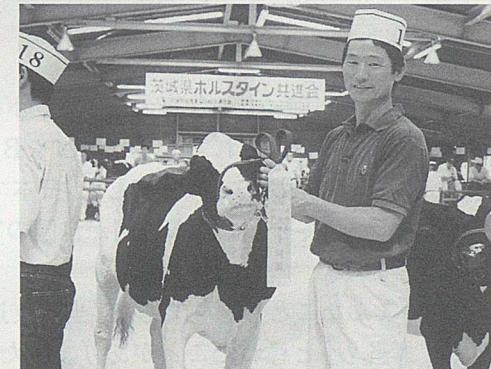
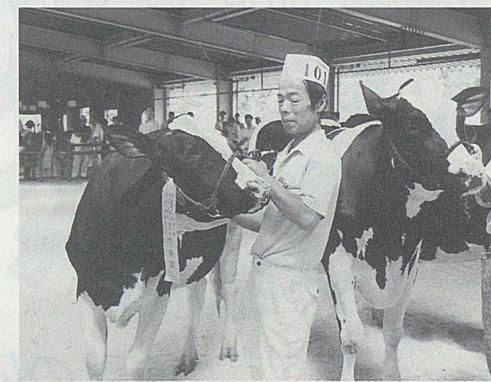
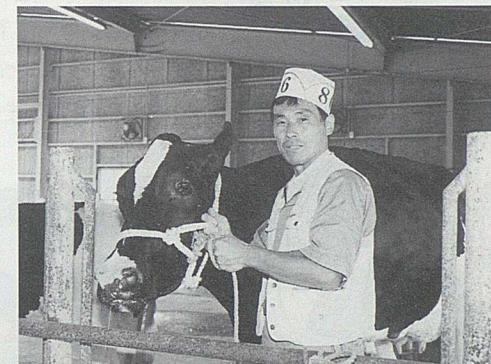
出品したのは、深沢三千雄さんのセジス・サスピション・プレミア号、手塚恵博さんのガバネス・メイソン・エレベーション号、そして藤原繁雄さんのビスター・チャーマー・ルーテナント号、ビスター・リバティ・ルドルフ号の4頭です。

審査は、外貌、肢蹄、乳用牛の特質、体積、乳器の5項目100点満点で行なわれ、本町生まれの乳牛も高い評価を得ましたが、惜しくも全国大会への出場権は逸しました。

牛乳はジュースを含めた清涼飲料水や市販の天然水類に比べ価格も安く「完全栄養食品」として健康には欠かせない優れものです。牛乳の栄養は、ほとんどが消化・吸収されて、血となり肉となり骨となります。特に骨粗しょう症予防に必要なカルシウム補給には小魚より牛乳の方が吸収しやすいとされます。

また、牛乳は形を変え、スキムミルク等の粉乳になったり、コンデンスマルク、バター、チーズ、クリーム、ヨーグルトとなり、食べやすく利用しやすく加工されている重要な食料品です。

私たちの住む玉造町でも酪農家が乳牛とともに毎日毎日美味しく新鮮で安全な牛乳を生産しています。玉造の牛乳をご一飲あれ。



能力開発と活用でサービス向上へ

大手企業でも国際社会の中でサバイバルゲームを余儀なくされている現代社会で、人事考課制度の見直しが始まっています。特に成果主義への移行が主流のようですが、公平な評価をいかに考課者ができるかが大きな課題になっているようです。

玉造町においても住民サービスの向上と積極的なまちづくりに向けて、職員の能力開発と活用をするために勤務評定の研修を始めています。



湖沼の考現学 (7)

「霞ヶ浦と生きる知恵を探る」

霞ヶ浦生態系研究所長 浜田篤信

小さくて偉大な人工湖児島湖を見る(下)



漁業協同組合前には、きれいに洗った定置網が干してある

古くから「たき
備前地方では、
児島湖淡水漁業協同組合の玄関前にはきれいに洗った網が干してあって、漁業への情熱が伝わってくる。

湖面積一一平方キロメートルの児島湖最奥部の八浜を振り出しに湖岸を歩く。湖奥部の湖岸はヨシが繁茂し、張網も数百メートル間隔に続く。児島湖淡水漁業協同組合の玄関前にはきれいに洗った網が干してあって、漁業への情熱が伝わってくる。

沖には、イカダ状の浮き漁礁が見える。漁獲対象種フナの資源増大のために昭和五十九六年に二分の一の補助を受けて総額九〇〇〇万円を投じ造成されたものである。



都市部から流下するゴミが定置網にかかっている



浄化への協力をよびかける広報板があちこちに設置してある

沖には、イカダ状の浮き漁礁が見える。漁獲対象種フナの資源増大のために昭和五九年に二分の一の補助を受けて総額九〇〇〇万円を投じ造成されたものである。

フナの漁獲量は、昭和四〇年台には二〇〇〇トンにも達した。現在では数百トンに減少しているが、それでもなお、霞ヶ浦のフナの漁獲量を凌いでいる。

児島湖の水質は、COD一二mg/Lで、霞ヶ浦の一・五倍、全国ワースト使途五位である。また、腸瘍がある魚や奇形が多いなど霞ヶ浦と比較すると相当に状況が悪いのではないかと考えられるが、眼前に広がる児島は、なお、生きている。しかし、定置網にかかった岡山平野からの大量のゴミをみると、水質改善が容易ではないことも確かだ。



締切堤防直上でウナギ釣りをする人 半日で10尾が釣果

20世紀の思い出、残してみませんか？

『玉造史叢第42集』の原稿募集中！

21世紀、私たちの生活はどのように変わって行くでしょうか。今世紀以上の変化が起こるでしょうか。残すところわずかとなった20世紀から次なる世紀へ、激変した20世紀の暮らし、古き良き暮らしの思いで綴り、温故知新の手引書として次世代に手渡せるものを作っていきたいと思います。これまで新しすぎて記事にできなかった昭和30年代以降についても、この早い変化を生み出している若い世代の視点から書いてくださる方をお待ちしております。もちろん、それ以前の内容についてもこれまで以上にご応募いただきたいと思います。

町内外を問わず広く執筆希望者をお待ちしておりますので、「少しでも書いてみようかな」と思われた方は玉造町郷土文化研究会事務局までご連絡ください。「書くことはちょっと苦手！」という方には、当方で聞き取り形式で原稿を起こしたいと思いますので、どうぞご依頼ください。みなさまからのたくさんのご応募をお待ちしております。

募集内容：「くらしの思い出～21世紀に残したいこと（もの）～」

〈内容例〉生活全般……衣食住・生業・道具等の原料生産から使用法
行事……祭り事、お祝い事、民間信仰、人生儀礼
環境関係……地理、気象、動植物、お化けなど
人間関係……慣習・言葉・風俗風習
時間関係……伝承・歴史観

連絡先：玉造町中央公民館内 玉造町郷土文化研究会事務局（兼光）

TEL 0299-55-0171 FAX 0299-55-0172

E-mail kennkyukkai@clubaa.com



町の花(ひまわり)



町の木(さくら)



町の鳥(うぐいす)